

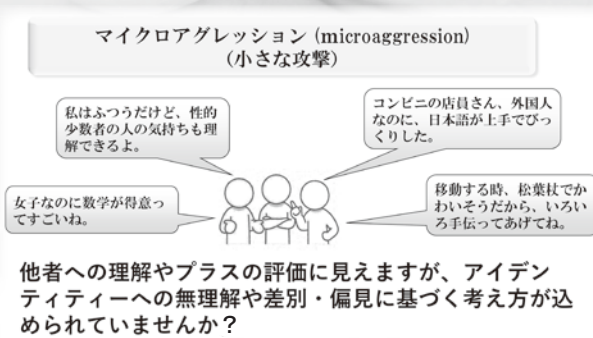
「会話」について考える

～多様性を尊重するためにできること～

☎生涯学習課 人権・同和教育係 ☎0943-32-0093

マイクロアグレッションとは？

自覚はないものの、日常的な言動の中で、特定の人々に対する差別や偏見、無理解などを含む小さな攻撃が行われることを指します。

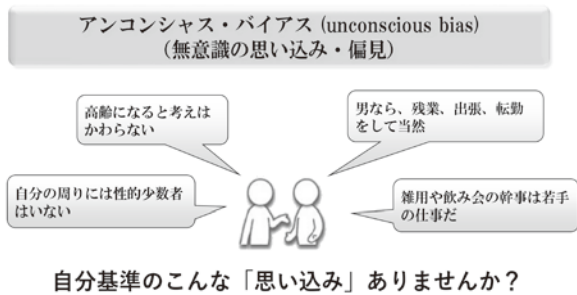


無自覚であるために日常的に繰り返され、結果、対象となる人を何度も傷つけてしまいます。気にも留めないような日常的な会話の中でも、相手を深く傷つけてしまうケースがあるということです。このような些細な言動がきっかけとなり、より暴力的な差別

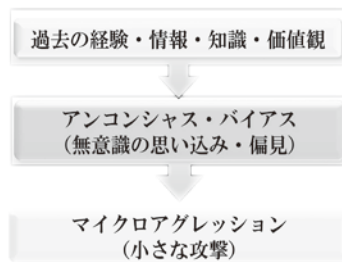
行為や社会的排除などに発展し、極めて重大な結果をもたらす可能性もあります。それらを防ぐためにも、私たちの身の周りにマイクロアグレッションが放置されていないか、定期的にチェックすることが大切です。

アンコンシャス・バイアスとは？

「無意識の思い込みや偏見」を意味します。これは、マイクロアグレッションを生み出す原因の一つと言われており、言動につながる核となるものです。



多くは、過去の経験や周囲の意見、日々接する情報などから形成されるものであり、誰でももっている可能性があります。自分自身のアンコンシャス・バイアスに気づかずにいると、知らず知らずのうちに相手を傷つけたり、周りに悪影響を及ぼしてしまうなどのマイクロアグレッションに直結してしまいます。



多様性を尊重するために

多くは、過去の経験や周囲の意見、日々接する情報などから形成されるものであり、誰でももっている可能性があります。自分自身のアンコンシャス・バイアスに気づかずにいると、知らず知らずのうちに相手を傷つけたり、周りに悪影響を及ぼしてしまうなどのマイクロアグレッションに直結してしまいます。

日ごろから「あれ？これってアンコンシャス・バイアスかも？」と、自分の考えを客観視することがとても大切です。自分ではあたり前と想っていたことでも、他の人の意見を聞いてみたら違ったという経験は誰しもがあるのではないのでしょうか？

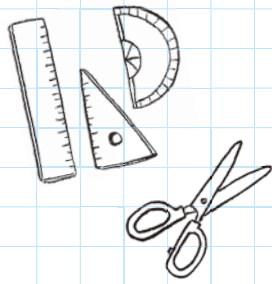
大切なのは「気づく」「学ぶ」「変わる」こと

チェックPoint

- ① 自分のあたり前を疑ってみる
- ② 自分のあたり前で決めつけない
- ③ 相手の表情や態度に違和感を感じたら、すぐ立ち止まって考えてみる

【参考】福岡県人権教育指導者向け学習資料「K A R A F U L L」

「言動」は「思考」がベ



学校教育

☎子ども課学校教育係 ☎0943-32-1194

夏休みまでの地域
学校協働活動の様
子をご紹介します

学校を核とした地域づくり 「地域学校協働活動」

近年、新型コロナウイルス感染症や自然災害などの予期せぬ出来事が連続で起こり、私たちの生活のあらゆる面に影響を与えています。

全国の学校では授業時数を確保するために、行事や教育活動などを精選する手立てを講じたことにより、広川町でもすべての学校で授業時数を確保することができました。

今後も予期せぬ環境の悪化に備えるため、本年度は学校2学期制を試行しているところで、夏休みを繰り上げ、8月24日までとすることで、1週間短い夏休みとなりました。

広川町では「地域学校協働活動」を進めています。この活動では、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに「学校を核とした地域づくり」を目指しています。今回は、地域と学校が相互にパートナーとして、夏休みを中心に取り組んだ協働活動の概要をご紹介します。

【読書リーダー養成講座】

小学4～6年生と中学1～2年生を対象に、町立図書館で「広川町読書リーダー養成講座」を開催しました。読書リーダーの育成を目的に、それぞれ2日間、講義などが行われました。



【きらめき学習】

7月21日～8月18日に14か所で実施しました。どの会場も分館長さんとコーディネーターの指導で、オリジナルTシャツの制作を楽しみました。



【子ども会リーダー研修】

来年の小学生リーダーとなる5年生を育成することを目的に、玄海自然の家にて1泊2日を実施。子どもたちの笑顔と元気な声が響き渡る研修になりました。



【土曜ネット活動】

本年度は、3小学校区とも前・後期1回だけの実施としました。前期は、3地区ともキャンドルやしおり、はがき絵作りに挑戦し、それぞれ思いの作品を完成させました。

